

平成28年 山岳パトロール情報(芦別岳)

実施日：平成28年5月3日(火・祝)

- ・ 芦別岳旧道から入山し、ユーフレ小屋を経由して本谷コースを登り、芦別岳山頂から新道コースを下山する行程で山岳パトロールを実施しました。
- ・ 本谷は兩岸が切り立つ岩壁のため、この時期は雪渓上に雪崩のデブリが各所に広がり、ゴルジュと呼ばれる兩岸が狭い谷（標高690メートル付近）は雪渓が崩落して口が開き、通行不可のため、高巻きをしての通過となりました。
- ・ 残雪期の**本谷**は、雪崩や落石、滑落等の危険要素が多い**上級者向けコース**のため、入山する際は、予め経験豊富な登山者等からのアドバイスを受けておく必要があります。
- ・ 新道コースは、標高619m(2合目)付近から山頂側の登山道が雪に埋まっていました。

芦別岳（旧道～本谷～新道）の残雪状況



勇振川左岸（旧道登山道）



ユーフレ小屋（標高620m付近）



ゴルジュ（標高690m付近）



通称「インゼル」の状況



鶯谷（覚太郎コース分岐）



新道2合目付近の状況

登山者に対する安全登山の声かけ



芦別岳山頂での啓発活動



半面山での啓発活動

【安全登山情報】

芦別岳の旧道は残雪や崩落のため登山道が不明瞭です。本年5月1日にも登山者が滑落して負傷する事案が発生しました。

本谷コースを登山される方は、雪崩や落石の危険性が高いため、十分気をつけて下さい。また、ゴルジュの通過には細心の注意が必要です。

新道も2合目付近から上部の登山道は残雪で覆われています。気温の上昇に伴い、雪が緩み、ツボ足では埋まる所もありました。